

学校番号

109

平成 29 年度 国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	4 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高等学校 国語総合 改訂版」 (第一学習社)						
副教材等	「新版品詞別頻出漢字マスター3000」 (尚文出版)、「基礎からの総合トレーニング現代文1 STEP 編」(ラーンズ)、「基礎からの総合トレーニング現代文1 JUMP」(ラーンズ)、「古語単語と一緒に学ぶ これからの古典文法 改訂版」(尚文出版)、「改訂版 読むナビ古文1 基礎編」(いっずな書店)、「精選漢文 重要な句法と語彙を学ぶ」(尚文出版)、「精選漢文ノート」(尚文出版)、「新総合図説国語 新訂版」(東京書籍)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

学習方法としては日々の授業に臨むにあたり提示される課題に主体的に取り組みましょう。授業では、教科書からの課題の他に定期的に行われる漢字の小テストにももしっかり取り組み、必要な語彙も身に付けていくようにしましょう。

2 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	・伝え合う力を高めるために、言語文化に対する関心を深めようとし、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・目的やその場における適切な表現を考え、最も適当な方法で自分の意見をまとめたり、文章に書いたりしている。	・文章から必要な情報を読み取ることが出来ている。 ・目的や手段に応じて適切な表現で自分の考えを表すことができる。	・漢字や熟語、ことわざ、慣用句などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	・授業の取組み ・宿題や提出物 ・出席状況	・定期テスト ・授業の取組み ・日々の宿題 ・長期休暇の課題 ・発表	・定期テスト ・授業の取組み ・日々の宿題 ・長期休暇の課題 ・発表	・定期テスト ・日々の取組み ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動（現代文分野）

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	随想・驚くという才能	<ul style="list-style-type: none"> 随想の読み方を知る。 生活していく中で色々なことに興味を持つことが平和に生きることに繋がり、その平和をつないでいくのが若者であること読み取る。 若者の担う役割を押さえた上で、今後の高校生活の抱負を新たにする。 	○	○	○		a:内容を理解した上で、高校生活の目標を持つようとしている。 b:驚くことが才能であり、それが平和な世界を導く論理を押さえている。 c:内容を読み取り理解している。 d:語句等の知識を習得している。	定期テスト 予習課題 授業態度 出席状況 提出物
	小説・旅する本	<ul style="list-style-type: none"> 短編小説の読み方を知る。 時間の流れによる主人公の心情の変化を読み取る。 本と主人公との関係を読み取る中から生徒自身の読書意欲を高める。 	○	○	○	○	a:時間の経過での主人公の心情の変化を読み取ろうとしている。 b:時間の経過による主人公の心情の変化を読み取れている。 c:短編小説の読み方を習得している。 d:本文中の語句の意味などの知識が身につけている。	
	評論・水の東西	<ul style="list-style-type: none"> 二項対立的な評論の読み方を知る。 水を中心に見た西洋文化と日本文化の差異を読み取る。 本文から他国の文化と自国の文化の差異を知り、理解を深める。 	○	○	○	○	a:自国と他国の文化の差異を知り、理解しようとしている。 b:西洋文化と日本文化の差異を本文から読み取っている。 c:二項対立的な評論の読み方を身に付けている。 d:文化の違いを理解している。	
	小説・夢十夜	<ul style="list-style-type: none"> 小説の読み方を知る。 夏目漱石に対する理解を深める。 登場人物の心情や行動を理解し、夢幻的な世界観を読み味わう。 	○	○	○	○	a:小説を読み味わおうとしている。 b:登場人物の心情や行動を読み取っている。 c:小説の読み方を習得している。 d:夏目漱石についての知識を身に付けている。	
二学期	評論・「文化」としての科学	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読み方を知る。 文章全体の構成を把握し、筆者の論の展開に沿って正しく内容を読み取る。 科学というテーマに触れ、視野を広げる。 	○	○	○	○	a:テーマである科学に興味を持ち理解しようとしている。 b:文章全体の構成を把握している。 c:筆者の論の展開に沿った内容を読み取っている。 d:評論の読み方を習得している。	定期テスト 予習課題 授業態度 出席状況 提出物

	<p>評論：グローバル化の「遠近感」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を知る。 ・グローバル化された世界についての認識を深める。 ・グローバル化することにより「遠近感」が失われていることが問題であることを読み取る。 	○	○	○	○	<p>a: グローバル化された世界について認識を深めようとする。</p> <p>b: 内容を読み取り、グローバル化により起こる問題点を考察する。</p> <p>c: 筆者の論よりグローバル化の問題点を読み取っている。</p> <p>d: 評論の読み方を習得している。</p>	
	<p>小説：羅生門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方を知る。 ・登場人物の性格・心情・行動を本文から読み取る。 ・芥川龍之介について知る。 ・本文の一部を書き換え、その作品について交流する活動を通し、内容の理解を深める。 	○	○	○	○	<p>a: 登場人物の性格・心情・行動を読み取ろうとしている。</p> <p>b: 本文の内容を踏まえ、書き換えることができる。</p> <p>c: 本文の内容を読み取り、自分の言葉で表すことができる。</p> <p>d: 芥川龍之介について理解している。</p>	
	<p>評論：ネットが崩す公私の境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を知る。 ・身近なインターネットについて振り返り、認識を深める。 ・本文の内容を読み取り、インターネットや情報社会についての問題点を理解する。 	○	○	○	○	<p>a: 身近なインターネットについて振り返り考えようとしている。</p> <p>b: インターネットについて認識を深め自分の意見を持っている。</p> <p>c: 本文の内容を読み取り、情報社会の問題点を理解している。</p> <p>d: 評論の読み方を習得している。</p>	
三学期 生 用	<p>評論：自分の身体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方を知る。 ・全体の構造を把握し、筆者の論の展開に沿って読み取る。 ・自分の身体について考えることで自己に対する認識を深める。 	○	○	○	○	<p>a: 自分の身体について考えることで、自己認識を深めようとしている。</p> <p>b: 本文の内容を読み取り、自分の身体について考え理解を深める。</p> <p>c: 全体の構造を把握し、筆者の論の展開に沿って読み取っている。</p> <p>d: 評論の読み方を習得する。</p>	定期テスト 予習課題 授業態度 出席状況 提出物
	<p>小説：城の崎にて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方を知る。 ・生き物の生と死について認識を深める。 ・小説のおもしろさについて理解を深め、読み味わう。 ・志賀直哉について知る。 	○	○	○	○	<p>a: 生き物の生と死について認識を深めようとしている。</p> <p>b: 内容を読み取り、自分の言葉で意見を述べるができる。</p> <p>c: 小説のおもしろさについて理解し、読み味わうことができる。</p> <p>d: 志賀直哉について知る。</p>	

学習の活動（古典分野）

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	古文入門	古文の学習 ・古文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・古文と現代文の違いを理解し、今後の学習のポイントを把握する。 児のそら寝 ・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歴史的仮名遣い、文語と口語の違いを理解する。 絵仏師良秀 ・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・文語文と口語文の違い、古典文法の基本について理解する。 ・芸術至上主義や職業意識について話し合い、理解を深める。	○				a: 声に出して本文を読んでいる。 古文特有の語の意味を古語辞典で調べている。 内容を理解しようとしている。 b: 話のおもしろさについて、意見を持ち、話し合っている。 c: 古典とはどのようなものかを理解している。 内容を展開に即して理解している。 d: 歴史的仮名遣いを理解し、正しく音読できる。 古文の特有の語や文法を認識している。	定期テスト 予習課題 授業態度 出席状況 提出物
	漢文入門	漢文の学習 ・漢文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・漢文を自国の文化に取り入れた先人の工夫を理解し、今後の学習のポイントを理解する。	○		○	○		

物語を楽しむ	<p>竹取物語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔話としてなじみのある作品を読み、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・用言の活用について理解する。 ・口語訳の力を身につける。 <p>伊勢物語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。和歌を味読し、修辞技巧を理解する。 ・助動詞について理解し、口語訳に生かす。 	○	○	○	○	<p>a: 声に出して、本文を読んでいる。 重要語句の意味を古語辞典で調べている。</p> <p>b: 『竹取物語』「かぐや姫」について調べたり、知っていることを発表したりしている。</p> <p>c: 内容を展開に即して理解し、登場人物の行動と心情を読み取っている。 本文を適切に口語訳している。</p> <p>d: 本文を正しく音読できる。 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 用言の活用を理解し、活用表が作成できる。 『竹取物語』について、文学史上の基本的な知識を持っている。</p>	
漢文入門	<p>訓読に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ・漢文を自国の文化に取り入れた先人の工夫を理解し、今後の学習のポイントを理解する。 	○	○	○	○	<p>a: 漢文を声に出して読んでいる。 日常使う漢語・格言・故事成語の意味と用法を漢和辞典を引いて調べている。 短い成句を暗誦している。</p> <p>c: 返り点、送り仮名について理解し、訓点のついた漢文を正しく書き下し文に改めている。 助字・置き字・再読文字の意味・用法を理解し、正しく訓読している。</p> <p>d: 漢文の特徴と読み方、返り点について理解している。 漢文が国語と不可分の関係にあることを認識している。</p>	

二学期	随筆を読む	<p>徒然草</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・助動詞・助詞について理解を深め、口語訳に生かす。 ・敬語について理解する。 	○	○	○	○	<p>a: 声に出して本文を読んでいる。重要語句の意味を古語辞典で調べている。</p> <p>内容を理解しようとしている。</p> <p>b: 読解を深めることで、物の見方、感じ方、考え方を広くしている。</p> <p>c: 内容を構成や展開に即して理解している。</p> <p>本文を適切に口語訳している。</p> <p>d: 随筆のおもしろさを理解している。</p> <p>本文を正しく音読できる。</p> <p>重要語句の意味を古語辞典で調べている。</p> <p>敬語の種類と用法を理解している。</p> <p>『徒然草』について、文学史上の基本的な知識を持っている。</p>	定期テスト 予習課題 授業態度 出席状況 提出物
	故事成語	<p>漁夫の利</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文訓読の基本事項を確認する。 ・平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。 ・故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解する。 ・古代中国人のものの見方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。 	○		○	○	<p>a: 漢文を声に出して読んでいる。故事成語の意味と用法を漢和辞典を引いて調べている。</p> <p>c: 訓点に従い、漢文を正しく書き下し文に改めている。</p> <p>句形の読み方と意味を理解している。</p> <p>d: 内容を捉えた上で、故事成語の現在の意味について理解している。</p>	

<p>日記を読む 軍記物語を読む</p>	<p>土佐日記 ・日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・助動詞の識別や接続について理解する。</p> <p>平家物語 ・軍記物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・音便について理解する。</p>	<p>○ ○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○ ○</p>	<p>a: 声に出して本文を読んでいる。重要語句の意味を古語辞典で調べている。 内容を理解しようとしている。 b: 読解を深めることで、物の見方、感じ方、考え方を広くしている。 時代背景や登場人物について調べたり発表したりしている。 c: 内容を構成や展開に即して理解している。 本文を適切に口語訳している。 d: 日記のおもしろさを理解している。 本文を正しく音読できる。 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 助動詞の意味用法について理解している。 『土佐日記』について、文学史上の基本的な知識を持っている。 『平家物語』の冒頭部分を暗誦できる。 和漢混交文、音便について理解している。 敬語の種類と用法を理解している。 軍記物語・『平家物語』について文学史上の基本的な知識を持っている。</p>	
<p>古代の史話</p>	<p>完璧 ・比較的長い、平易な文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 ・中国の史伝に特徴的な簡潔な表現を味わい、故事成語・成句などを正しく理解する。 ・中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。</p>	<p>○ ○</p> <p>○ ○</p>	<p>○ ○</p> <p>○ ○</p>	<p>○ ○</p> <p>○ ○</p>	<p>a: 漢文を声に出して読んでいる。文章中の語句の意味と用法を漢和辞典を引いて調べている。 c: 文章の内容を、話の展開に即して理解している。 句形の読み方と意味を理解している。 d: 登場人物の言動について理解し、その性格・人物像をつかんでいる。 中国の歴史書の概要について、理解している。</p>	

三学期	和歌と俳諧	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌によまれた思想・感情・情景を読み取る。 ・和歌の修辞技巧やそれぞれの時代の表現・語法上の特色を理解する。 奥の細道 ・俳諧紀行文を読んで、自然・人間などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・俳文における俳諧の役割を理解する。 ・俳文の省筆の効果を理解する。 ・俳諧を味読し、修辞技巧を理解する。	○	○	○	○	○	○	a: 声に出して和歌を読んでいる。重要語句の意味を古語辞典で調べている。 b: 読解を深めることで、物の見方、感じ方、考え方を広くしている。 c: 和歌を適切に口語訳している。和歌の表現、思想・感情、情景を理解している。 d: 和歌を正しく音読できる。和歌の修辞技巧を理解している。『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の歌風を理解し、文学史上の基本的な知識を持っている。	定期テスト 予習課題 授業態度 出席状況 提出物
	漢詩の鑑賞 中国の思想	唐詩の世界 ・唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているかを考える。 ・漢詩のきまり(詩形・押韻・構成・対句)について理解する。 ・詩に表現された作者の心情について理解する。 論語 ・中国の思想を代表する儒家思想の概略を捉える。 ・『論語』における孔子の考え方を理解する。 ・孔子の思想が、現代においてどのような意味を持っているかを考える。 ・中国の思想を代表する儒家思想の概略を捉える。 ・『論語』における孔子の考え方を理解する。 ・孔子の思想が、現代においてどのような意味を持っているかを考える。	○	○	○	○	○	○	a: 漢詩や本文を声に出して読み、暗誦に努めている。 押韻・対句の理解のために、漢和辞典を引いて調べている。 詩にうたわれている情景を理解するために、地図を活用している。 思想の歴史的背景に関心を持つ。 b: 漢詩を自分のイメージと言葉で書き換え、表現する。 句形の読み方と意味を理解している。 c: 漢詩と訳を読み比べて、それぞれの情趣を把握している。 漢詩の感情や情景を読み取っている。 d: 漢詩の決まりについて理解している。 詩にうたわれた情景やイメージ・心情をつかんでいる。 詩に表現された作者の心情・主題を理解している。 孔子の思想について理解し、思想家が登場した背景について理解している。	

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度
c: 技能

b: 思考・判断・表現
d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。